

週間漁海況情報 2025年第31号

令和7年8月5日発行

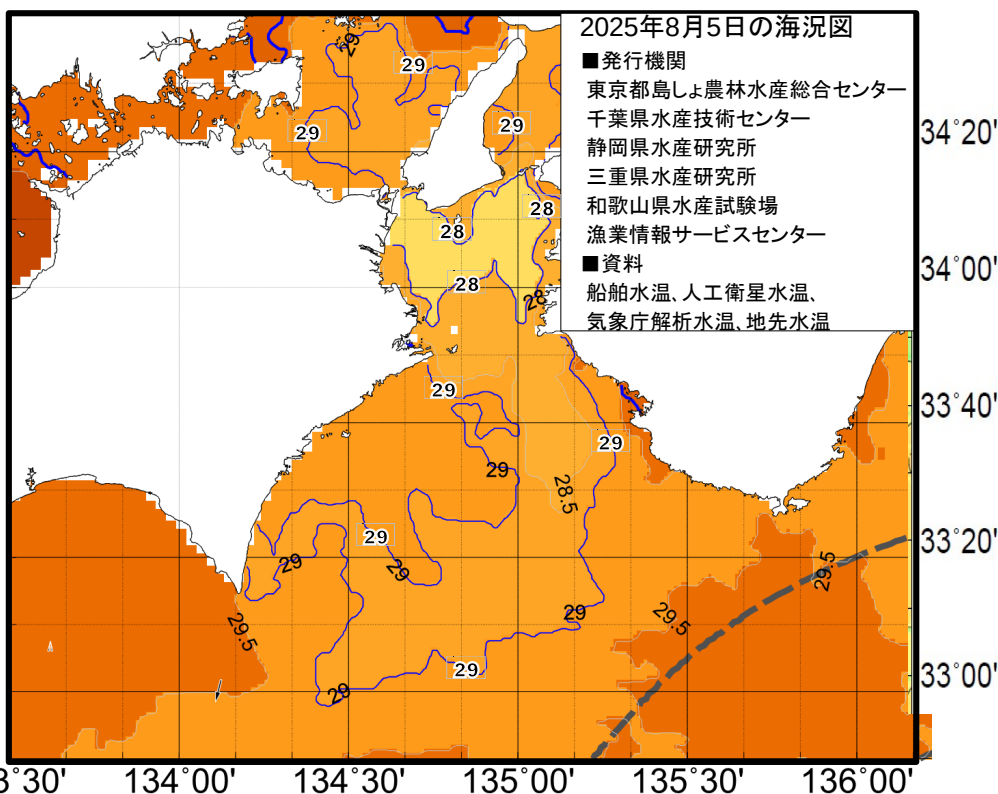
海況

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖105マイル付近、潮岬沖25マイル付近を流れ、室戸岬で「著しく離岸」、潮岬で「接岸」している。

黒潮の表面水温は28～29℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で28～29、紀伊水道で27～28、海部沿岸で29℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

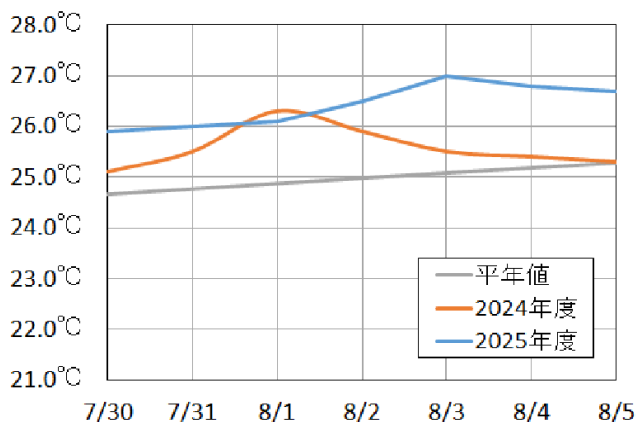
(いずれも正南方向)

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

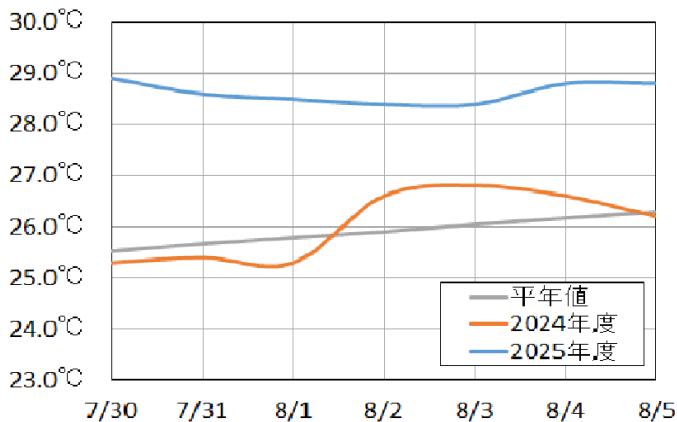
2. 地先水温(7月30日～8月5日)

鳴門地区の水温は、25.9～27.0℃で「やや高め」から「高め」、浅川地区は、28.9～28.4℃で「かなり高め」から「高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、1.4～3.0℃だった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(8月6日～8月12日)

黒潮は、室戸岬沖で「離岸」、潮岬沖で「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門、浅川地区とも「高め」で推移する見込み。

漁況 (7月28日～8月3日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

船びき網では、シラスが増えて50.6ト水揚げされた。

釣りでは、イサキが増えて大主体に0.3ト水揚げされた。

延縄では、ハモが中主体に10.3ト、あまだい類が0.5ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが中主体に10.6ト、えそ類が増えて1.5ト、

マダイが大きく減って大主体に0.2ト、いとより類が大きく増えて0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、イサキが減って大主体に1.2ト、アイゴが大きく減って0.5ト、

マダイが減って小主体に0.4ト、マアジが減って豆あじ級主体に0.3ト、

ふえふきだい類が減って大主体に0.2ト、カンパチが減って0.2ト、

カワハギが大きく減って大主体に0.2ト、ブリが増えてめじろ級主体に0.1ト、

マルアジが減って0.1ト、メイチダイが大きく増えて0.1ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

延縄では、あまだい類が大きく増えて0.3ト、キダイが減って大主体に0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.1トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	100	シラス	50,625	506		↗
	釣り	11	イサキ	253	23	大主体	↗
	延縄	75	ハモ	10,284	137	中主体	→
		49	あまだい類	515	11		→
	底びき網	29	ハモ	10,560	364	中主体	→
		29	えそ類	1,464	50		↗
		24	マダイ	218	9	大主体	↘↘
		29	いとより類	171	6		↗↗
	小型定置網	22	イサキ	1,178	54	大主体	↘
		20	アイゴ	452	23		↘↘
		23	マダイ	350	15	小主体	↘
		20	マアジ	310	16	豆あじ級主体	↘
		17	ふえふきだい類	208	12	大主体	↘
		18	カンパチ	186	10		↘
		24	カワハギ	181	8	大主体	↘↘
		10	ブリ	105	11	めじろ級主体	↗
		21	マルアジ	105	5		↘
		8	メイチダイ	104	13		↗↗
海部沿岸	延縄	10	あまだい類	306	31		↗↗
		7	キダイ	174	25	大主体	↘

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘